

トランプ 2.0 をめぐる国際エネルギー情勢

<報告要旨>

一般財団法人日本エネルギー経済研究所
資源・燃料・エネルギー安全保障ユニット 担任
研究理事 久谷 一朗

中東情勢は一旦沈静化したものの、今後の展開は不透明。

1. イスラエル・米国とイランの軍事衝突は一旦沈静化。一方、相互関税による景気減速に加えて OPEC プラス有志国による追加減産緩和など、世界の石油需給は弱含んでいる。
2. しかし今後のイラン情勢の展開は、停戦の行方（短期）やイランの核開発問題が解決に向かうのか否か（中長期）など、不透明。
3. ホルムズ海峡の安全通行に支障が発生する情勢となれば、日本を含む世界に悪影響が及ぶ。世界の石油貿易の約 3 割（20Mb/d, 2023 年）、LNG 貿易の約 2 割（85Mton, 2023 年）がホルムズ海峡を通過するが、同海峡を迂回可能な石油パイプラインの余剰能力（4.2Mb/d）は大きくない。発生確率は低くとも影響が甚大な「テールリスク」として留意すべき。
4. 世界的にも日本の中東依存度の高さは際立っている。そのため石油の安定供給に向けて、非常時への備え（備蓄）や各種リスク対策（輸入相手国の多角化、中東情勢安定化への貢献）など包括的な対策を続ける必要がある。

トランプ 2.0 の政策による中国への影響をどう見るか

5. トランプ 2.0 の政策は、気候変動防止や自由貿易の観点から中国の立場を強化し、中国企業に国際展開の機会を与えるなど、意図に反して中国を利する結果になっている可能性がある。加えて、関税を巡る交渉などを通じて、中国は自身を持つ力を再認識することになっている可能性もある。
6. 一方、米中対立がエスカレートする場合、弱含む中国経済は更に下押しされ、国内政治・経済の課題ともなりうる。また、中国の需要減速は、国際エネルギー需給の軟化や価格低下など、国際エネルギー市場にも影響する。

トランプ 2.0 とウクライナ戦争の帰趨

7. 米国はロシアに融和的にアプローチするも停戦に至らず、戦争終結の糸口を見いだせていない。トランプ大統領は、既に場合によってはロシア産石油の輸入国に二次関税を課す可能性を示唆しているが、ロシアの対応次第で現実

化していくこともある。この場合、輸入量の多い3ヵ国（中国、インド、トルコ）が最も制裁の影響を受け、また制裁の成否を左右する。制裁強化の場合、国際エネルギー市場への影響も注目される。

8. 日本は現在もロシアから石炭とLNGを輸入しており、戦争と制裁の動向に応じた対策を考えておく必要がある。

シナリオ 1.1：戦争が続き、米国による対露経済制裁は現状程度で継続。

シナリオ 1.2：戦争が続き、米国はロシア産石油輸入国に二次関税を発動するなど制裁強化が進む。

シナリオ 2：停戦で合意し、米国による対露経済制裁が解除される。

とりわけ、シナリオ 1.2 の際のエネルギー価格動向や日本への影響が注目される。

トランプ 2.0 の国内エネルギー政策を巡る注目すべき動き

9. 米国はエネルギー安定供給や国民生活の向上、製造業の再興を目的に、火力発電のCO₂排出規制や温室効果ガスの危険性認定などの規制緩和を検討している。米国におけるクリーン技術投資環境の悪化が、将来どのような影響をもたらすか注視する必要がある。
10. One Big Beautiful Bill Act が成立した。エネルギー関連では、前バイデン政権時に成立したインフレ抑制法（IRA）による支援の期間短縮や外国資本・部品への制限が盛り込まれており、米国でのクリーン投資に影響する。

トランプ 2.0 の下、世界はより現実的なエネルギー転換を目指す動きも

11. トランプ政権の誕生は気候変動対策の潮流に変化をもたらしており、化石燃料への資金供給を一定程度許容する動きが見られる。また、世界銀行は原子力発電への融資禁止を解除し（2025年6月）、IAEAとのパートナーシップも締結（2025年6月）した。

日米関係の強化・深化に向けて

12. 米国が重要なパートナーであり、日米関係の強化・深化が重要であることは不変。4年ごとの大幅な政策転換の可能性を前提とした戦略も必要。
13. 政権交代となっても変わらない米国の国益の観点からエネルギー協力の要素を見つけなければならず、現時点では、SAF、バイオ燃料、蓄電池、重要鉱物、CCS、原子力（燃料を含む）、地熱などが候補とも考えられる。
14. 他方、現政権の下、貿易赤字の解消に向けた短期的な対応としてはLNGが重要。ただし、他の供給源と劣後しない競争的な価格での調達が必要となる。米国の巨大なLNG供給量全体を協力の対象としつつ、日本の引き取りには量と時間軸の両面で限界があるため、東南・南アジア諸国との連携を図ることが必要である。